令和８年１１月号

「ふくすいき ～福水企～」通信



企業団キャラクター
ピュータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL　092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

●筑後川の水を利用されている皆さまへ　さらなる『節水』についてのお願い

福岡都市圏で使用する水道水の３分の１は、筑後川の恩恵を受けています。しかし、筑後川流域では、梅雨明け以降少雨傾向が続いており、ダム貯水率は昨年の同時期を大幅に下回っています。

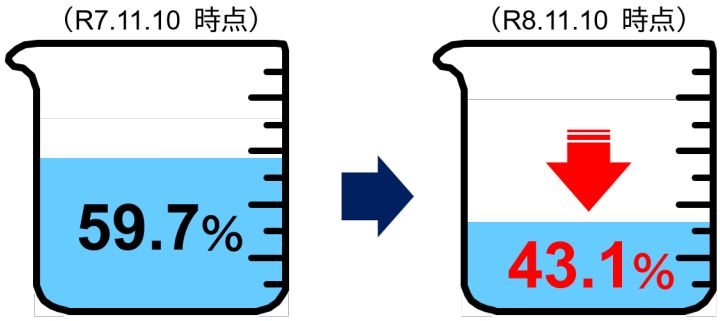
このため、福岡地区水道企業団では、海水淡水化センターの増量生産を継続し、各ダムからの放流量を抑制することで、引き続き、ダム貯留水の温存に努めています。

また、少雨傾向が続いた場合に備え、10 月 22 日に構成団体と今後の渇水対応に関する会議を開催し、さらなる自己水源の活用や節水への取組を強化するよう改めて要請しました。

福岡都市圏の皆さまには、このような状況をご理解いただき、限りある水資源を守るため、日常生活の中でのさらなる節水にご理解とご協力をお願いいたします。

（参考）

＜筑後川水系ダム貯水率の比較＞



貯水率が昨年度の同時期を大幅に下回る状況



○水源状況　→ https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/
○身近な節水対策
→https://www.f-suiki.or.jp/wp-content/uploads/top/familiar_water_saving2026.pdf#view=Fit

●福岡地区水道企業団議会議員・監査委員合同行政視察〔10/14（水）・15（木）高知県土佐町・香川県三豊市〕

企業団議会議員（大石修二議長ほか14名）及び監査委員（大森一馬・松山力弥監査委員）は、毎年度合同で、他都市の水道事業の施設・事業運営の取り組み等について実地調査を実施しています。



早明浦ダムでの事業説明

今年度は、高知県土佐町の早明浦ダム、香川県三豊市の香川用水記念公園を訪れ、治水機能の向上を目的に利水容量を洪水調節容量に振り替えるとともに、放流設備の増設を行う『早明浦ダム再生事業』や、同ダムがある吉野川の水を導水する『香川用水』の概要について、独立行政法人水資源機構の職員から、説明を受けました。

今回の視察を踏まえ、当企業団の事業運営に活かしてまいります。　＜議会事務局　森＞



早明浦ダム再生事業の工事現場



香川用水記念公園

●令和８年度日本水道協会全国会議（第109回総会・水道研究発表会）で浸透圧発電の取組みが水道イノベーション大賞を受賞しました〔10/21（水）～23（金）長崎市〕

令和８年度日本水道協会全国会議が、長崎市の『出島メッセ長崎』及び『ヒルトン長崎』にて開催されました。当企業団からも職員が参加し、全国の水道関係者とともに、水道事業の課題解決に向けた議論や情報交換を行いました。

総会では、水道イノベーション賞の表彰式が執り行われ、当企業団が取り組む『日本初！浸透圧発電の実用化』が大賞を受賞しました！

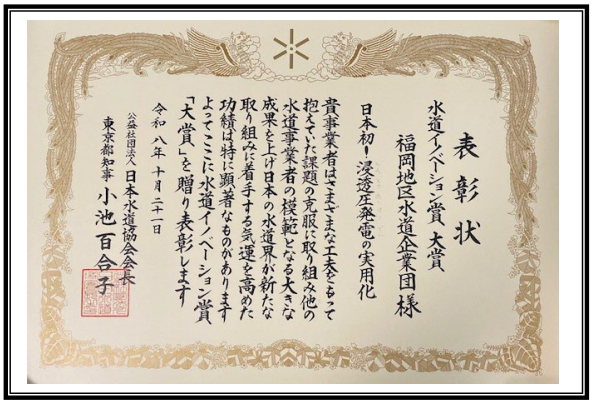


賞状を受取る名古屋企業長（中央）

この取り組みは、令和７年８月に運用を開始した日本初、世界でも２例目となる新たな発電技術となります。

海水淡水化センターで発生する『濃縮海水』と、近隣の下水処理場で発生する『下水処理水』という、これまで博多湾に放流されていた２つの排水を活用した発電技術として注目を集めています。

表彰にあわせて、原口施設部長による事例紹介も行われ、浸透圧発電技術について広くＰＲする機会となりました。



水道イノベーション賞　大賞　賞状

水道研究発表会では民間企業、水道事業者、学識者などから全 10 部門にわたる研究発表が行われ、業務改善や研究成果など、最新の知見が多数報告されました。



当企業団職員による発表

脱炭素部門において、当企業団からは、『海水淡水化施設における浸透圧発電の実用化』について発表しました。自治体職員や水道関連企業、学識者など多くの水道関係者が聴講し、現在の検証状況や効率向上に向けた取り組みについて活発な質疑応答が行われました。この発表を通じて、当企業団の新たな技術への挑戦と脱炭素社会実現に向けた姿勢を広く発信することができました。

また、全国会議と並行して、一般社団法人日本水道工業団体連合会主催の『水道展』も開催されました。各企業のブースを訪問し、製品の説明を受けることで、機器の構造や技術的な理解を深める貴重な機会となりました。

今回の全国会議および水道展で得られた最新の知見を活かし、今後も安全で良質な水道用水の安定供給を支える業務に、より一層取り組んでまいります。

<会議報告：海水淡水化センター　大森>

<発表会報告：海水淡水化センター 川添>

●全国水道企業団協議会第 57 回企業長・事務局長経営会議【出席しました】〔10/29（木）東京都千代田区〕

『全国水道企業団協議会第 57 回企業長・事務局長経営会議』が東京都千代田区で開催され、全国の水道企業団等から会員約 65 名が出席し、当企業団からは名古屋企業長が出席しました。

会議では、各事業体が抱える経営・労務等に関する 16 項目の懇談事項について意見交換が行われたほか、国土交通省水管理・国土保全局 水道事業課長　筒井誠二（つついせいじ）氏から『水道行政の最新動向』について講演がありました。　　＜企画調整課 河野＞



企業長・事務局長経営会議

●牛頸コスモス花見会【開催しました】〔10/30（金）・31（土）牛頸浄水場〕

福岡地区企業団牛頸浄水場では、地域の皆さまを対象にコスモス花見会を毎年開催しています。

今年は 10 月 30 日と 31 日に開催し、２日間で 336 名もの方々にご来場いただきました。

初日は秋雨の降るあいにくの天候となりましたが、２日目は秋の爽やかな晴天に恵まれました。色鮮やかなコスモスが一面に広がる中、会話も弾み、笑顔あふれる和やかな雰囲気の中で、親睦を深める貴重な機会となりました。

今後も、地域の皆さまとの繋がりを大切にし、交流を深めながら地域に親しまれる活動を努めてまいります。

＜牛頸浄水場　林＞


満開のコスモス

■ 水源地域との交流事業

実 施 レ ポ ー ト

●流域連携基金事業『筑後川のめぐみフェスティバル』【参加しました】〔10/17（土）・18（日）福岡市役所西側ふれあい広場〕

福岡都市圏で使用する水道水の３分の１は筑後川からいただいていることから、水の恵みに感謝し、福岡都市圏と筑後川流域の住民が交流を図り、相互理解を深めることを目的に『筑後川のめぐみフェスティバル』が福岡市役所西側ふれあい広場にて開催されました。



オープニングセレモニー
（左から２番目：名古屋企業長）

オープニングセレモニーでは、主催者代表によるあいさつや『くす玉割り』が行われました。また、筑後川流域の観光大使やマスコットキャラクターなども登壇し、会場をにぎやかに盛り上げました。

会場には、筑後川流域から出店したグルメ・物産品販売など 50 のブースが設置され、ステージでは、観光物産ＰＲ・物産品抽選会や郷土芸能太鼓披露、チアリーディングなどのアトラクションが行われました。

当企業団は福岡市水道局と共同で、水道水・飲む海水・ミネラルウォーターの３種類の飲み比べを行う『利き水コーナー』と、海水淡水化センターによる海水淡水化のしくみがわかる『実験コーナー』を出展しました。両日とも季節外れの夏日となりましたが、２日間で約 2,000 人を超える参加がありました。

最後に、利き水コーナーの運営に従事された構成団体の福岡市、筑紫野市、篠栗町、福津市、糸島市の職員の皆さま、ご協力いただきありがとうございました。



利き水をする来場者



淡水化の実験

●弥生の都 吉野ヶ里交流事業【参加しました】〔11/７（土）佐賀県吉野ヶ里町〕

福岡都市圏の住民が水源地の大切さを理解し、水源地との連携をさらに深める目的で、吉野ヶ里町民との交流事業が実施されました。


五ケ山ダムでの見学

福岡市内から小学４～６年生とその保護者合計 36 人が参加しました。吉野ヶ里町と那珂川市にまたがる福岡都市圏の大事な水源の一つである五ケ山ダムを堤体から見学したほか、ダム建設時に移植された御神木『小川内（おがわち）の杉』にも足を運び、吉野ヶ里の自然・歴史などの説明を受けました。昼食では、お弁当に加え、地元背振（せふり）の食材を使った猪肉の焼肉と日本茶栽培発祥の地である吉野ヶ里町の『栄西茶（えいさいちゃ）』を堪能しながら交流を深めました。その後、間伐材を利用したコースター工作体験が行われ、参加者は熱心に思い思いの作品作りに挑戦していました。

最後に、『アドベンチャーバレーSAGA』にある、『ネットコース』を体験しました。ハーネスなしで高さ８メートルの樹上を安全に遊べるコースで、日常では味わえない大自然の中での体験を親子で楽しみながら、吉野ヶ里の自然の心地よさを肌で感じていました。　＜総務課　楊＞


『小川内の杉』見学


『アドベンチャーバレーSAGA』ネットコース

11月の予定【開催されます】

●小石原川・佐田川『ノーポイ』運動【参加します】〔11/18（水）朝倉市佐田〕

水資源機構筑後川局が中心となり、河川愛護や水産資源の保護を目的とした『ノーポイ』運動が佐田川（寺内ダム貯水池周辺）、小石原川（江川ダム貯水池周辺）にて毎年開催されています。

当企業団は、各構成団体の職員の皆さんとともに、清掃活動に参加します。



令和７年度

日　　時　　令和８年11月18日（水）　9：00～11：30（予定）
開 催 場 所　　佐田川（寺内ダム貯水池周辺）、小石原川（江川ダム貯水池周辺）
問い合わせ先　　独立行政法人 水資源機構　筑後川局
TEL：0942-34-7001　FAX：0942-37-8386

●大山ダム水源地域上下流交流事業『森の学び舎（や）交流会』〔11/21（土）日田市大山町〕【参加します】

福岡都市圏の水がめである大山ダムのある大分県大山町において、水源林を守り育てることの必要性等について理解し、上流域と下流域の市民が交流を深めることを目的に、デイキャンプが行われます。大山ダム見学や『森をつくる水の循環』の講話、木材を利用した小物づくり、マウンテンバイクで田来原（たらいばる）美しい森づくり公園の周遊とイベントが盛りだくさんで、地元の食材を利用したカレーを囲んで交流会も行われます。※募集は終了しています



【イメージ】マウンテンバイク

日　　時　令和８年11月21日（土）　8：00～17：00（予定）
開 催 場 所　大分県日田市大山町　田来原美しい森づくり公園
問い合わせ先　大山ダム水源地域上下流交流事業実行委員会
（日田市　地域振興部　大山振興局）
TEL：0973-52-3101　FAX：0973-52-3285

水資源機構だより

● 令和８年熊本地震の被災地（八代市）で給水支援



現地視察をされる小野八代市長（中央）

水資源機構では公益社団法人日本水道協会からの要請により、熊本県八代市（松崎公園）にて給水支援を実施しています。松崎公園周辺は井戸を使用している家庭が多く、地震により被災した井戸の復旧に時間を要することから、生活に必要な水の支援が必要となっています。そのため、９月７日より『可搬式浄水装置*』の搬入及び設置作業に着手し、９月 12 日には生活用水の給水を実施、水質検査が完了した同月 15 日からは、飲料水の給水を開始しました。



運転監視の引き継ぎ

10 月８日には八代市による装置の運転監視体制が整ったことから、機構職員の派遣を終了しました。なお、同月９日以降は八代市が可搬式浄水装置の運転監視を行い、機構は技術的な支援を継続しています。

引き続き、被災地における生活に欠かせない水の確保に向け、支援に取り組んでまいります。

＊『可搬式浄水装置』は、海水などの原水をろ過し、生活用水や飲料水として安全に使用できる浄水を作り出す装置で、容易に運搬・設置が可能です。これまでも各地で発生した災害時に被災地へ派遣しています。

八代市詳細記事
水資源機構 HP

■水源地域の主なイベント　【お出かけください】

12 月の予定

●おしろい祭り〔12/２（水）朝倉市 大山祇（おおやまずみ） 神社〕

（朝倉市から情報提供いただきました）

昔からの『伝説』によると、大山祇神社を『山の神』と呼び、山の神は元来『女の神様』といわれています。おしろい祭は、その『神様』がお化粧をする事を意味する祭りといわれています。



おしろい祭り

このおしろいは、新米（初穂）を粉にして水でといて（しとぎ）顔にぬるもので、昔の農家の人が、氏子の繁栄と新穀の豊作を神に感謝し、来年の五穀豊穣を祈願する、全国でも類のない奇習とされています。

おしろいの顔の付き具合で来年の『作柄（さくがら）』を占い、このおしろいは家に帰るまで顔を洗ったり落としてはならず、火の中に入れると火事になり、帰って牛馬の飼料に混ぜて飲ませると無病息災だといいます。

当日は 14 時頃から宮座が始まり、宮司のお払いがあり、祝詞が奏上されます。拝殿で氏子全部が宮座の膳につき、座元の人達は大きな鉢にしとぎを持ち出して宮司の顔から塗り始めます。

日　　時　　令和８年 12 月２日（水）お祭り 14：00～
　　おしろいぬり　15：00～
開 催 場 所　　大山祇神社（朝倉市杷木大山）
問い合わせ先　　道の駅『原鶴』インフォメーションセンター
　　TEL：0946-62-0730

朝倉市 HP

水源情報

企業団ホームページの水源情報（https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/）は、毎日（土日祝を除く）最新情報に更新しています。



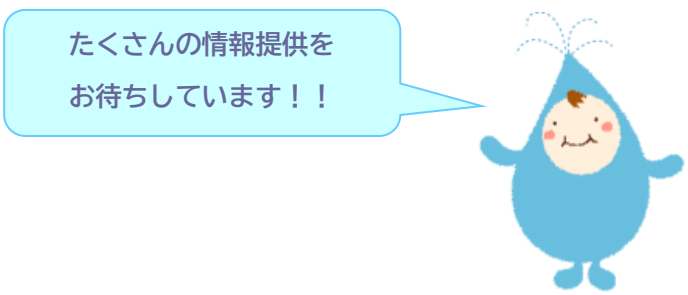


ホームページ画面

★　構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの情報を掲載していきたいと思っています。皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、ご感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！
よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～
掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課交流広報係　　kouhou@f-suiki.or.jp



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS〔X（旧 Twitter)、Facebook 、Instagram〕を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすく情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団の電子広報媒体（ふくすいき除く）		二次元コード
企業団ホームページ [アドレス] https://www.f-suiki.or.jp/		
SNS	X（旧 Twitter）	
	Facebook	
	YouTube	
	Instagram	